

熊野三山奥の院 おお

すぎ

# 玉置之巨杉



発行 玉置神社  
令和元年6月吉日  
電話 0746-64-0500  
FAX 0746-64-0429  
〒647-1582  
奈良県吉野郡

十津川村玉置川

## 祭典のご案内

夏越大祓・六月三十日 大日堂社大祭・八月八日  
出雲大社玉置教会秋季祖霊祭・秋分の日(九月二十三日)  
玉置神社例祭・十月二十四日

## 玉置神社を大事に守り次代に引継ぐ



朝七時、玉置神社の太鼓の音が、境内に響き渡り、静寂であった山の空気を破りました。やがて、熊野灘から昇った新年の朝日が一本の筋となつて、巨杉の間から大鳥居を潜り、本殿の格子戸を抜け、神がおわします内陣まで照らしました。

平成三十一年、新年を迎える歳旦祭に参列していたときのことです。今でも、その光景は、目に焼き付いております。

私は、小学生の頃から十月二十四日の例祭には、毎年欠かさず玉置神社に参拝してきました。玉置神社までの三時間の上り坂も苦にならない楽しみの登山だったように思い出します。現在は車で近くまで登ることができません。さらに、平成十六年に世界遺産として、大峰奥駈道と共に玉置神社も登録された後は、参拝者の皆さんがずいぶん増えました。

霊峰玉置山(一〇七六m)は、沖見嶽とも云われ、熊野灘が望めます。その直下に鎮座する玉置神社は、極めて重要な聖地です。杉の巨樹群や枕状溶岩は奈良県指定天然記念物でもあります。私たち責任役員や氏子総代は、これらの重要な地域及び社を大事に守り、次代に引継いでいかなくはなりません。

現在、水の確保等環境整備を第一に早急に取り組んでいるところで、ご不便をおかけしておりますが、ご容赦願います。

奈良・三重・和歌山の三県にまたがる玉置川地区の古来からの南の参詣道に、一の鳥居が建っていました。その一の鳥居の建て替えが企画され、関係者のご協力で五月九日に完成しました。この道は、まだまだ整備する必要がありますが、新しい元号と共にスタートできたのをうれしく思っております。

今後とも宮司・神職・職員・氏子総代・崇敬者の皆様と共に、この玉置神社を末永く守つて行く所存ですので皆様のご支援ご協力の程、どうぞよろしくお願い申し上げます。



お参りして下さる人々の心の中に安らぎの花が咲き、令和元年にふさわしい希望の年となりますよう、祈っております

責任役員 丸田定敏

## 玉置神社様

寒い時がつついていますか

お元気ですか

村内めぐりではお世話になりました。  
本殿へ入ることはとてうれしかったです。  
入か先生が言っていた神社様のことですか

あの後わたしは神社様の気配を感じました。

档に神社様はいるんですね。

また行きたいと思います。お本に気を付けて。

稲田 陽菜



(ほんとです。玉置神社の神社様(1番らしいのはたれですか?)陽菜◎

県と村の文  
化財である  
こと「参拝  
者は、国内  
外から来る  
こと」ほかを  
伝えました。  
かわいい手  
紙を全員か  
らいただきました。  
紙面の都合で二人分  
だけ紹介します。

玉置神社の方へ  
この前、おまもりをくれて  
ありがとうございました。  
わたし、森の中からソソソと聞  
こえました。神社様が、見てくれ  
たのかも知れませんが、わか  
りな



## 村内巡りの手紙

二月十五日(金)に、十津川  
村の小学校三年生十八名が  
村内巡りで、玉置神社に来て  
くれました。  
子供達には、「玉置神社は、  
世界遺産で国の重要文化財、

## 嬉しかった 出雲大社玉置教会

### 月次祭での玉串奉奠

平成二十五年に初めて熊野古道を歩き、熊野の自然に魅了  
され何度も訪れていた熊野。その中でも玉置神社は私にとつて  
特別な場所。玉置神社ならではの神聖な空気は他では感じら  
れません。たまたま熊野古道を一緒に歩いたスペイン人が勧める  
ので一度行ってみよう、そんなつもりだったが、友人知人を連れ  
て何度も玉置神社へ参拝に来ています。私にとつても皆にとつて  
も玉置神社はいつも行きたい神社！今回は冬で参拝を諦めてい  
たのですが、暖冬のおかげでアクセス可能。

雨で熊野古道を歩けなくなつたので一日早く参拝できること  
になると、三月一日は出雲大社玉置教会の月次祭！偶然にも  
お祭りの日！氏子さんにお声掛け頂き、幸運にも氏子さんに続  
き参列し本殿に上がり玉串奉奠  
をさせて頂きました！予想外の  
嬉しい展開でした。

実は新しい宮司さんになられ  
たので、今までと何か変わったのか  
など思っていたところ、さらにご縁  
が深まるような出来事に遭遇し、  
今後の参拝が今から楽しみです。

福岡在住 中山 美穂



## 玉置神社の「弓神楽」

当神社の神楽は、「弓神楽」と称し、男性が巫女の佩く赤い緋袴を着けて太鼓などに合わせて舞い、続いて弓を射ますが、これは全国でも大変珍しく貴重な伝統文化です。

「原書房 熊野 増捕新版 地方紙研究所編」によれば、

「玉置権現が昔、白木の弓を以て荒神を射伏したのに始まり、白河天皇承保元年（西暦一〇七四年）行幸の際に祈請のために奏せられたという。「玉置山縁起」の年中行事によれば、正月元旦・三月三日・五月五日・八月朔日・九月九日・同月二十四日の各祭典には、何れも弓神楽を奏して天下泰平国家安全の御祈禱を勤めました。その歌詞は、

熊野なる 玉置の宮の 弓神楽 つるのね 弦乃音すれば 悪魔しりぞく

と云つて鳴弦によつて妖魔の退散を祈つた。この歌詞を木版に刷つて空海筆と称する護符が頒布されている」

現在の弓神楽は、十月二十四日の例祭・元日終日・三月の初午祭（神楽のみ）となりました。またこの護符は、太陽・月・弓・矢・大日如来・金剛界・胎藏界・剣等が描かれています。

神職 鈴木 清建

## 弓神楽を次の時代に

神子（みこ）になって今年で七年目です。きっかけは、当時の神本宮司からの

「あんた神楽してみんか？」

との誘いでした。当時から地元の踊り保存会で活動していた事と、宮司が近所の方だった縁です。そこから先代の神子（当時八十代後半）に弓神楽と、社殿で舞う神楽を教えてもらいました。



先代の神子からは、昔の玉置神社の話をたくさん聞かせて頂きました。弓神楽の弓は、作る木の種類から長さまで決まっていることや、呪（ま

じない）の事など。それ以外にも不思議な話をたくさん。玉置神社は本当に他とは違う場所なんだなとそのつど感じました。

先代も二年前に逝去され、今、自分に弓神楽を次の時代に伝える責任が来ました。先代の期待に添うよう、頑張つて行きます。

玉置神社神子 みこ 大谷 芳史

## 三月十日(日)三柱神社初午祭(例祭)

撰社・三柱神社例祭「初午祭」は、去る三月十日午前十時より齋行されました。

三柱神社は、玉置のお稲荷さんとして親しまれ、玉置山の地主明神でもあります。

また「初午祭(はつうまさい)」とは、全国の稲荷神社で行われる大切なお祭りであり、当社では三月の最初の「午(うま)」の日に、五穀豊穡・商売繁盛・家内安全などを祈ります。

この日は生憎の雨模様でしたが、村の内外から多数の参拝者で賑わいました。まだまだ寒さが厳しい境内では、恒例のぜんざいが振舞われ、参拝の方々も暖を取っていました。

那智勝浦町から参拝の女性は、

「しばらくご無沙汰でしたが、今年はずか行きたくてワクワクして  
いました。母も一緒に連れて来たかったのですが……」

と雨空を見上げて残念そう。来年は晴れてお母さんも一緒に参拝出来たらいいですね。

祭典に賜りました多くの御神饌(お供え)もさることながら、準備万端整えて下さいました総代会や、ボランティアの皆様方のご尽力に御礼申し上げます。



神職 前岡 克弥

## 十津川村を離れた私たちも何か



十津川の友人達のSNSが、三柱神社初午祭の話題で盛り上がりつつあります。

ふと「三柱神社って何処にあるのか

な」と思いました。夫婦杉や神代杉は、何時でも思い浮かぶのですが、三柱神社については忘れてしまっていたのです。

十津川高校を卒業して、奈良に来て以来、長い間玉置神社に行つてなくて、玉置神社のことを深く考えたことは有りませんでした。十津川に居る頃は、秋祭りで踊ったり、高校の草刈りで玉置神社の近くまで行つたりしましたが、只々近くにある神社という感じでした。

十津川を離れると、玉置神社に行く機会が無く、三柱神社の書き込みを見ながら懐かしく思いました。今は、十津川村を離れた私たちも、何か玉置神社について取り組めないものかと思っています。十津川の大事な宝物ですから。

奈良市在住 森岡 洋子

三月二十一日(木)

## 出雲大社玉置教会春季祖霊祭

彼岸(ひがん)は、神道の日願(ひがん)から来ているとも言われます。亡き方々の御霊を、高天原に昇天するべく、神職一同、浄衣にて、霊璽(れいじ)位牌にあたるもの(に供え物をし感謝の祭詞を捧げました。更に、玉置山の松平墓地と奥津城(墓にあたるもの)にも奉仕しました。

四月十五日(月)

## 神前結婚式



午前十一時より神前結婚式を斎行いたしました。

お二人の末永いお幸せをお祈り申し上げます。  
結婚式の多数のお申し込みお待ちしております。

五月十三日(月)

## 玉石社例祭



当日は午前十時から玉石社例祭を斎行致しました。御祭

神は、大己貴命(おおなむぢのみこと)です。平安の昔、吉野より熊野に至る修験道を開いた山岳修行の祖、役行者が後世のために如意宝珠を奉つて福德を祈念したと伝えられています。

## ボランティア経験

私は、十年ぐらい前からずっと神職になりたいと思つていました。



それで、東京で鈴木清建先生にお会いして、三月十日の三柱神社(初午祭)でのボランティアのお話を頂きました。世界遺産の神社でボランティアさせて頂けるのが、とても嬉しかったです。

初めての玉置神社でのボランティアでしたが、皆様に親切にして頂き自然と馴染んで、自分らしさ、明るさを取り戻せたのが一番良かったです。神様の近くで、神様を大切に思つておられる皆様と同じ時間を過ごさせていただき、神職やボランティアの皆様と親しくお話ができたことも大変ありがたかったです。また、なるべく早く、玉置神社の神様にお参りしたいです。そして、玉置神社の皆様にお会いしたいです。

茨城在住 佐藤 健司

## 五月十四日(火)出雲大社玉置教会例祭

出雲大社玉置教会の始まりは、廃仏毀釈後の明治十九年の全村民の、出雲大社教加入です。村民の篤い尊皇と信仰の心を今に伝える、重要で貴重な玉置教会なので、神職一同心より御奉仕させて頂きました。

# 新曲「十津川夢ものがたり」は 玉置の大神様のお蔭を頂いて

日本一大きな村



歌手 池上真由美

私は以前奈良交通で働いていたことがありました。その繋がりにから十津川村とこうしてご縁を頂くことになりました。

退職して二十年近くもたつていた私にホテル昴様から「歌手デビューしたと聞いたよ！カラオケ発表会があるの

でゲストにおいで」と連絡を頂いたのです。

到着後ホテルの方から「十津川村には物凄い力のある世界遺産『玉置神社』があるので必ず行ってみて下さい！！しかし、神様が呼んで下さらないと絶対にたどり着けないところが『玉置神社』ですよ」とお話を聞きました。案の定、その後、十津川村へ来る事ができても機会に恵まれず、気がつくとも三年！！

しかし、私はわずか三年で神様にお許しを頂き、神様に呼んで頂くことができたのです。初めて玉置神社様の本殿の前に立った時、サーーーッ！と風が吹き、その風が私の体に吸い込まれ、

そして身震いもするほどの感覚！これが玉置神社の大神様のパワーなんだと。その後不思議な繋がりがどんどん増え始めビックリしております。

この度デビューから四年目に入り十津川村の皆さんに背中を押して頂き、初めて自分の思いを前面に出しました。「十津川村の歌を是非歌いたい」と。そして「十津川夢ものがたり」という歌が出来上がりました。歌の歌詞として初めて『玉置神社』という名を歌詞に入れさせて頂くご許可を頂くことができ、そして、CDの後ろ面ではお写真で玉置神社様に守っていただいております。

先日、玉置神社様の「初午祭」に参加させて頂きヒット祈願のご祈祷をお願いしました。改めて就任されました舩谷宮司様の素晴らしい「志」とお話に心が熱くなり涙が流れ感動しました。私は歌手として今後も十津川村の為に、また、玉置神社様の最大なるパワーに感謝させていただきながら努力していきたいと思っております。



十津川夢ものがたり

心がゆれます 谷瀬の吊り橋で  
川のせせらぎに 身をゆだねて  
この山里に 素晴らし恋が芽生える  
玉置神社に 願いをかけて  
二人の夢を祈る 十津川の旅よ

運命なのね 十津川の出逢いうれいいわ  
ふれあい朝市で 味のごちそう  
源泉かけ流し 湯泉地 上湯 十津川  
疲れをいやす ころと身体  
幸せにひたる二人 十津川の旅で

(3番略)

## 境内地整備の奉仕活動



倒木や落ち葉など、境内地の整備が奉仕活動によって進められています。この日は、初午祭の前に責任役員・氏子総代の方が、三柱神社周辺整備の奉仕活動をして下さいました。

玉置神社は、こうした氏子崇敬者の皆様のお力添えにより支えられています。

大神様の導きにより、ご奉仕下さいました皆様の、幸多きことをお祈り申し上げます。

## 境内建物・設備の整備計画



三月に、御輿殿灯籠の修復をしました。三月には、村教育委員会・県教育委員会の訪問を得て、現状を視察して頂きましたが、多くの修理を必要としています。

先の台風で被災した大日堂の屋根

の修理を進めています。

今後玉置神社では、水の確保・雨漏り・手洗い他施設の改修など境内建物・施設設備の整備を進めていきます。

## 帰幽報告

井上賢豊元宮司が、四月二十二日九十二歳にて帰幽されました。平成七年からの四年間の宮司としてのご功績は誠に偉大でありました。心より哀悼の誠を捧げます。

## 玉置神社の調理員となつて

### 「中今」を生きる

(唐突ではありますが……)

私が調理員として一番大切にしているのは、「神恩感謝」です。それは、今日も真心をもつて奉職できるのは、自然がもたらす恵みで育つた食物を載けているからに他ならないと考えているからです。稚拙ではありますが、そのような事を考えながら奉職を重ね、「神恩感謝」を深化してまいりました。

そうすると、自然と一日の始まりには天地に感謝を捧げるようになりました。

やがて、食は祭祀を司る神職が発する言葉のエネルギー源になっているのではないかと考えるようになり、どういった思考、精神状態で調理するべきなのか？という取り組みへと発展し、現在も模索の最中です。



玉置神社での奉職は神道を知り、中今の大切さを学ばせて頂くきっかけとなりました。

今後も、このような学びを以て道の精華に励みたいと思っております。

賄い班 黒岩 大朗

# 奉賛者一覽

敬称略

青木真由美、青木美恵、青柳悦子、秋山吉正、浅田悦弘、浅田照次、浅田良次、東克東洋子、安部尚代、永幸商事榑有岡悟、安藤敏康、池上真由美、池口敦子、池島慶紀、石川満帆、石古貴士、石橋愛子、泉信介、泉道夫、伊藤代悟、井原正人、今里千代子、むさし旅館、今中勉、今西真紀子、今村未絵、岩崎榮作、岩崎良光、植西茂隆、氏家珠実、牛場まり子、梅沢康裕、江頭信子、Atsuta Daichuan、大字重里、大字平谷、大内悠芳貴、大熊力、大下雅葉、太田俊司、大谷岩朗、大野幸正、大場健司、大村太郎、岡一郎、岡崎宗子、岡村美佳、岡本茂樹、荻峰子、奥岩大、奥田世津子、奥西弘昌、長田博昭、小野寺康博、榑ケイツーネットワーク、榑さくら、榑鈴工、榑西日本空撮、海部剛史、柏井宏太郎、金森文雄、金子由起、上下勝規、上平知花、栢木健吾、飯屋静子、假家英明、川原敏裕、川原真弓、酵素ラボ、菊地夏果、岸本圭司、木田佐知、木野健司、清水将義、工藤和浩、久保田守雄、熊野修験青岸渡寺、倉本重枝、栗栖規、栗野兼信、栗本明彦、栗本香、大高真澄会、黒石珠水、小西密晴、小林勝美、小湊和久、齋藤誠、榑本正文、桜井直子、佐古金一、佐小忠生、佐藤のり子、佐野久仁子、榑原雅美、榑原一英、柴沢晃、柴田龍瑠、八大龍王講、嶋田依与里、下園義人、新十津川町道外研修団、鈴井孝子、鈴木厚夫、鈴木玄耀、鈴木こず江、鈴木美枝子、瀬戸山博美、宗宮正幸、田上裕弘、高嶋晋一郎、田口景一、ムゲンエンジネリ、田口幸雄、田口芳子、竹井繁美、竹田信幸、山学林、立石光正、田中ひろみ、谷口さくみ、田花館、田花敏郎、田花操、玉置一朗、玉置一男、玉置行祐、玉置公三、玉置眞壽夫、玉置順一、玉置俣生、玉置達美、玉置千絵、玉置不二子、玉置正澄、玉置幹真、知念光博、千葉志づ、辻村啓之、土橋あつ子、土屋直明、堤野晃宏、苞山吉成、津本裕子、天台寺門宗総務本所、十津川村観光協会、十津川村旅館ホテル組合、中精一、中昌永、中井良子、中上食品店、中垣浩一、中垣千恵子、中島典子、永田将士、(有)中谷工務店、中整武治、中南佐栄子、名淵敬、新倉和子、西尾一也、(有)西岡板金工作所、西川尚志、西田みる子、西村鋼児、温井利一、念法眞教十津川念法寺、野口晴生、登純子、則本隆、蓮音温子、畑中和、左初井政澄、花島淳一、濱口美都子、林誠、原比佐子、原田昭子、番場智之、東武史、東勉、辯郵便局、東眞民、東辻成夫、英彦山門坊信者一同、平野博之、平野文恵、平山好一、吹揚克之、古都音榑、福田彩乃、福西壽男、福屋利休、藤井孝子、藤澤尊、藤野涼子、何季泰、掘善彦、本間兼一、本間ナヲエ、増田知雅、舛谷リチア、(株)ムシー富士、松井英樹、松下玄、松村昭彦、松本節、丸山昌三、三井所隆史、水嶋啓一、水野雅弘、水野眞理絵、溝口美智子、南武雄、峯廻寛、宮田豊、向笠友子、村田和正、村脇久子、物江龍太、森孝弘、森多美子、森下かね子、柳二郎、柳美代栄、柳田由治、柳瀬正明、矢野慶範、山口健児、山西一善、山本勝美、山本啓造、環境デザイン、横田隆吉、本義則、梶田クミ子、黄士洵、林伊楚、張嘉珉、林明儀、孟継分

(平成31年4月末日)

## 境内建物整備の奉賛金をお願いしています。

多くの皆様から御寄進を賜りますよう、よろしく願い致します。



## 社務日誌より

- 1 14月 新宮市修験者立石光正氏一行3名参拝
- 1 15火 三柱神社月次祭
- 1 24木 玉置神社月次祭
- 1 28月 古神札お焚き上げ祭
- 1 30水 道路凍結/蛇口凍結
- 2 1金 出雲社月次祭
- 2 3日 大日堂転換祭
- 2 5火 村教育委員会教育長以下来社
- 2 10日 第38回新十津川町青年団道外研修一行5名参拝襖絵拝観、教委、村青年団随行
- 2 15金 三柱神社月次祭
- 2 17日 責任役員会
- 2 20水 合同村内めぐり(一小二小)3年生18名教員5名見学
- 2 24日 奈良県ビクターズビューロー一行8名正式参拝
- 3 1金 玉置神社月次祭
- 3 6水 出雲社月次祭
- 3 7木 境内立燈籠修理作業
- 3 10日 県文化財保護課来社
- 3 12火 田辺本宮町行政局長一行来社
- 3 13水 元衆議院議員玉置公良氏参拝
- 3 15金 三柱神社初午祭
- 3 16土 村教委村誌編纂の為襖絵撮影4名
- 4 1火 一の鳥居建設地清祓
- 4 2水 台湾ツアー19名正式参拝
- 4 3木 三柱神社月次祭
- 4 8月 富士さくら会46名参拝
- 4 9火 出雲社春季祖霊祭
- 4 12金 奥津城彼岸慰霊祭
- 4 15月 三柱神社月次祭
- 4 16火 西川家山添家神前結婚式
- 4 20日 世界平和を守る会7名
- 4 21月 株式会社KTRD26名参拝
- 4 22金 松平墓所彼岸慰霊祭
- 4 23火 玉置神社月次祭
- 4 26火 責任役員会
- 4 27水 西日本空撮撮影の下見に来社
- 4 28木 出雲社月次祭
- 4 29金 責任役員会
- 4 30火 家向笠友子氏他4名来社
- 5 1火 若宮社神武社例祭
- 5 2水 若宮社神武社例祭
- 5 3木 トラベル日本ツアー21名参拝
- 5 4木 歌手池上真由美氏二十津川夢ものがたりCD奉納
- 5 5金 歌手池上真由美氏二十津川夢ものがたりCD奉納
- 5 6土 ウバヤ禅センタージョアン・ハリファックス老師 棚橋一晃一行32名参拝
- 5 7日 三柱神社月次祭
- 5 8月 西川家山添家神前結婚式
- 5 9火 一般社団法人熊野奉賛会神徳学院代表理事千葉鳳泉氏以下4名参拝
- 5 10日 村老人クラブ松實会長・平瀬副会長来社
- 5 11月 長来社
- 5 12金 世界平和を守る会7名
- 5 13火 株式会社KTRD26名参拝
- 5 14水 那智山青岸渡寺大峯奥駈行一行50名参拝
- 5 15木 八大王講嶋田依与里氏一行15名参拝
- 5 16金 村教委学芸員資料調査2名来社

## 編集後記

今年、五月一日の御代替の慶賀を迎え、多数のご寄稿を頂きました。一部来号以降の掲載を予定しています。次号の発行予定は、十二月です。多くのご寄稿をお待ちします。編集担当小川文男